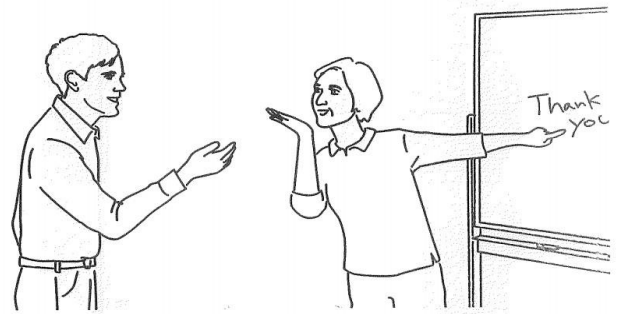


## 16. トッドの<sup>やくそく</sup>約束

結婚<sup>けっこん</sup>を約束<sup>やくそく</sup>したジーナとトッド。しかし、突然<sup>とつぜん</sup>ジーナに不幸<sup>ふこう</sup>なことが起こ<sup>お</sup>ってしまいます。遠く<sup>とお</sup>離<sup>はな</sup>れてしまった二人<sup>ふたり</sup>に幸<sup>しあわ</sup>せは訪<sup>おとず</sup>れるのでしょうか。

ジーナとトッドは大学生<sup>だいがくせい</sup>の時<sup>とき</sup>、付き<sup>つ</sup>き合<sup>あ</sup>いはじめました。しかし、ジーナの両<sup>りょうしん</sup>親<sup>じん</sup>は、自分<sup>じぶん</sup>たちの娘<sup>むすめ</sup>がトッドと付<sup>つ</sup>き合<sup>あ</sup>うこと<sup>こと</sup>に反<sup>はん</sup>対<sup>たい</sup>していまし



た。なぜなら、トッドの家庭<sup>かてい</sup>環境<sup>かんきょう</sup>には問題<sup>もんだい</sup>があっ<sup>あ</sup>て、彼<sup>かれ</sup>と結婚<sup>けっこん</sup>したら一<sup>いっ</sup>生<sup>しょう</sup>苦<sup>く</sup>労<sup>ろう</sup>するだろ<sup>おも</sup>うと思<sup>おも</sup>っていたから<sup>から</sup>です。

2年<sup>ねん</sup>後<sup>ご</sup>に二人<sup>ふたり</sup>は大学<sup>だいがく</sup>を卒業<sup>そつぎょう</sup>しました。ジーナは就<sup>しゅう</sup>職<sup>しょく</sup>しましたが、トッドは海<sup>かい</sup>外<sup>がい</sup>へ留<sup>りゅう</sup>学<sup>がく</sup>する<sup>き</sup>ことを決<sup>き</sup>めました。留<sup>りゅう</sup>学<sup>がく</sup>に出<sup>しゅ</sup>発<sup>ぱつ</sup>する前<sup>まえ</sup>に、トッドはジーナにプロポ<sup>ぽ</sup>ーズしました。

「素<sup>す</sup>敵<sup>てき</sup>な言<sup>こと</sup>葉<sup>は</sup>は見<sup>み</sup>つから<sup>い</sup>ないけ<sup>い</sup>ど、これ<sup>あ</sup>だけ<sup>い</sup>は言<sup>い</sup>える。愛<sup>あい</sup>して<sup>い</sup>るよ。僕<sup>ぼく</sup>は一<sup>いっ</sup>生<sup>しょう</sup>君<sup>きみ</sup>を<sup>か</sup>守<sup>ぞく</sup>ると約<sup>き</sup>束<sup>はい</sup>する。そし<sup>き</sup>て、君<sup>きみ</sup>の<sup>か</sup>家<sup>ぞく</sup>族<sup>き</sup>にも<sup>はい</sup>気<sup>き</sup>に入<sup>はい</sup>って<sup>い</sup>も<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>え<sup>い</sup>る<sup>い</sup>よ<sup>い</sup>う<sup>い</sup>に<sup>い</sup>努<sup>ど</sup>力<sup>りょく</sup>する。僕<sup>ぼく</sup>と<sup>けっ</sup>婚<sup>こん</sup>して<sup>い</sup>く<sup>い</sup>れ<sup>い</sup>る<sup>い</sup>?」

「はい」とジーナは答<sup>こた</sup>え<sup>え</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>た<sup>た</sup>。

トッドはジーナの<sup>ゆび</sup>指に、<sup>ゆびわ</sup>指輪をはめました。<sup>かのじょ</sup>彼女の<sup>りょうしん</sup>両親もトッドの<sup>つよ</sup>強い<sup>き</sup>気持ちに<sup>こころ</sup>心が動いて、<sup>うご</sup>二人の<sup>ふたり</sup>関係を<sup>かんけい</sup>認めて<sup>みと</sup>くれました。

トッドは<sup>りゅうがく</sup>留学に<sup>しゅっぱつ</sup>出発しました。トッドが<sup>りゅうがく</sup>留学している<sup>あいだ</sup>間、ジーナは<sup>いっしょうけんめい</sup>一生懸命働きました。

ところがある<sup>ひ</sup>日、<sup>かのじょ</sup>彼女は<sup>しごと</sup>仕事に行く<sup>い</sup>途中で<sup>とちゅう</sup>交通事故に<sup>こうつうじこ</sup>遭って<sup>あ</sup>しまいました。  
目が覚めた<sup>め</sup>時、<sup>さ</sup>ベッドの<sup>とき</sup>横で<sup>よこ</sup>両親が<sup>りょうしん</sup>泣いて<sup>な</sup>いるのが<sup>み</sup>見えました。ジーナは<sup>りょうしん</sup>両親を<sup>お</sup>落ち着<sup>つ</sup>かせるために、<sup>ふたり</sup>二人に<sup>はな</sup>話しかけました。しかし・・・<sup>こえ</sup>声が、<sup>だ</sup>出せませんでした。<sup>なに</sup>何かの<sup>まちが</sup>間違いだと思っ<sup>おも</sup>て、もう一度<sup>いちど</sup>声を出<sup>こえ</sup>そうとしました。しかし、<sup>けっか</sup>結果は<sup>おな</sup>同じでした。<sup>じ</sup>事故で<sup>こ</sup>頭を<sup>あたま</sup>打<sup>う</sup>ったせいで、ジーナは<sup>こえ</sup>声が出<sup>で</sup>なくなってしまったのです。



それからしばらく<sup>にゅういん</sup>入院して、ジーナの<sup>なお</sup>けがは治りました。そして<sup>かのじょ</sup>彼女は<sup>たいいん</sup>退院して、<sup>いえ</sup>家に<sup>かえ</sup>帰りました。<sup>すべ</sup>全てが<sup>まえ</sup>前と<sup>おな</sup>同じように<sup>かん</sup>感じられましたが、<sup>こえ</sup>声を出<sup>だ</sup>すことだけはできませんでした。<sup>でんわ</sup>電話の<sup>き</sup>ベルを聞くと、

ジーナは<sup>かな</sup>悲しくて<sup>むね</sup>胸が<sup>は</sup>張り<sup>さ</sup>裂けそうになりました。<sup>こえ</sup>声が出ない<sup>かのじょ</sup>彼女は、  
もう<sup>はな</sup>トッドと話すことができないのです。

ジーナはトッドを<sup>こころ</sup>心から<sup>あい</sup>愛しています。しかし、<sup>あい</sup>愛しているから  
<sup>かれ</sup>彼に<sup>くろう</sup>苦勞をかけたくありませんでした。<sup>かのじょ</sup>彼女はトッドに<sup>てがみ</sup>手紙を<sup>か</sup>書きました。

\_\_\_\_\_ <sup>あた</sup>新しい<sup>こいびと</sup>恋人ができたから、<sup>わか</sup>別れましょう \_\_\_\_\_

そして、<sup>てがみ</sup>手紙と<sup>いっしょ</sup>一緒に<sup>ゆびわ</sup>指輪も<sup>い</sup>入れました。

トッドは<sup>なんど</sup>何度も<sup>なんど</sup>何度もジーナに<sup>でんわ</sup>電話をかけました。しかし、ジーナ  
にできることは、<sup>な</sup>泣くことだけでした。

ジーナの<sup>りやうしん</sup>両親は、<sup>かのじょ</sup>彼女が<sup>すべ</sup>全てを<sup>わす</sup>忘れられるように、<sup>べつ</sup>別の<sup>まち</sup>町に引っ  
<sup>こ</sup>越すことにしました。<sup>かのじょ</sup>彼女は<sup>あた</sup>新しい<sup>まち</sup>町で<sup>しゅわ</sup>手話を<sup>べんきよう</sup>勉強して、新しい生  
活を始めました。そして、トッドのことを<sup>かんが</sup>考えないようにしました。

ある<sup>とき</sup>時、ジーナは、トッドが<sup>りゅうがく</sup>留学から<sup>かえ</sup>帰ってきたことを<sup>ともだち</sup>友達から  
<sup>き</sup>聞きました。しかし、ジーナは<sup>ともだち</sup>友達に、<sup>じぶん</sup>自分に<sup>お</sup>起こったことをトッド  
に<sup>おし</sup>教えないで<sup>い</sup>ほしいと言いました。

そして1年が<sup>ねん</sup>過ぎたある<sup>ひ</sup>日、<sup>ともだち</sup>友達がジーナの<sup>ところ</sup>所に1枚の<sup>まい</sup>封筒を<sup>ふうとう</sup>持っ  
てきました。<sup>ふうとう</sup>封筒を開けると、<sup>なか</sup>中にはトッドの<sup>けっこんしき</sup>結婚式の<sup>しょうたいじょう</sup>招待状が<sup>はい</sup>入

っていました。ジーナは招待状を見て、ショックを受けました。

彼女は彼のことを忘れようと努力していましたが、簡単に忘れることはできなかったのです。

しかも驚いたことに、新婦の所に自分の名前が書いてありました。ジーナはびっくりして顔を上げました。すると目の前に、なんと、トッドが立っていました。

トッドは手話で話し始めました。

「君との約束を忘れていない。手話を勉強するのに、1年もかかってしまった。僕は君の声になりたい。愛してるよ」

そしてトッドはジーナの指に指輪を戻しました。ジーナの顔に涙と笑顔があふれました。

## 単語リスト：

家庭環境（かていかんきょう）Hoàn cảnh gia đình

指輪（ゆびわ）Nhẫn

出発する（しゅっぱつする）Xuất phát, khởi hành

約束（やくそく）Lời hứa

はめる Đeo, lồng vào

交通事故（こうつうじこ）Tai nạn giao thông

退院（たいいん）Xuất viện

張り裂ける（はりさける）Vỡ tan

しかも Chưa hết

なんと Nào ngờ

あふれる Ngập tràn, đầy ắp